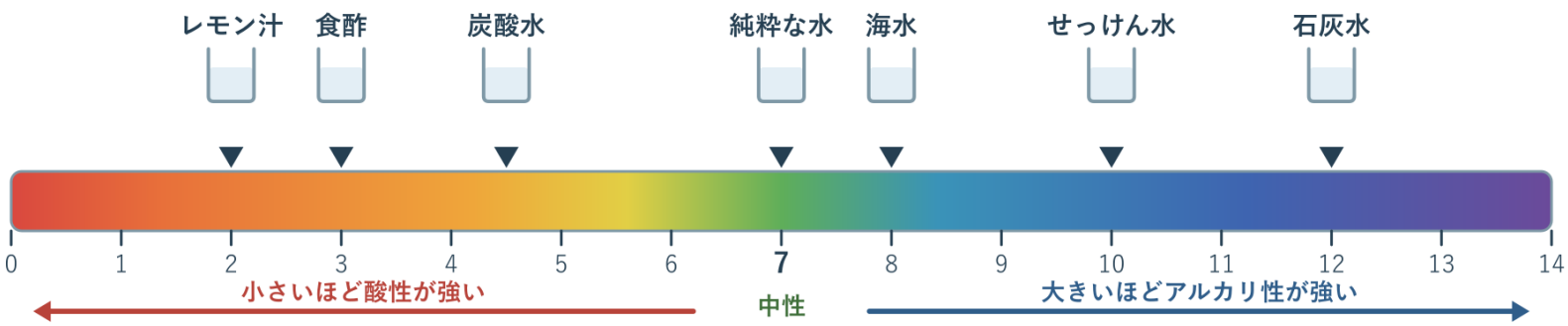
pHの調べ方と身の回りの水溶液

酸性・アルカリ性の強さは、どうやって調べ、どう表すのか

pHの目盛り（0〜14）

身の回りの水溶液のおよその値



色の変わり方（上の目盛りと同じ位置。区切りはおよそ）

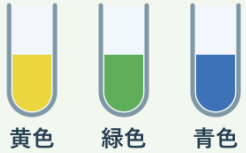


1 pH試験紙



ガラス棒で液を1滴つけて比べる。
ガラス棒は1回ごとに水で洗う。

2 BTB液



数滴加え、3色で見分ける。
レモン汁も炭酸水も同じ黄色で、
強さは分からない。

3 フェノールフタレイン液



アルカリ性で赤色になる。
酸性と中性はどちらも無色で、
区別できない。

気をつけること

保護眼鏡をかける。
調べる液どうしを混ぜない。
液が手や目についたら、
すぐに多量の水で洗う。
なめない。

※ 値と色の区切りはおよそで、濃さや温度、指示薬の種類で変わる。色は模式。完全な操作手順ではない。